

別冊特集刊行にあたって

中央大学は21世紀を迎えるにあたって中・長期的なビジョンの下に、1999年5月、「21世紀へ向けての本学の総合的な改革に関する理事会基本方針」を決定し、基本方針に沿った具体的施策を実行してきました。その過程においては、中央大学125周年記念プロジェクトが法人・教学・学員を有機的に連携させた実行体制で設置され、現在着実に改革が推進されています。

しかし、21世紀に入って、産業界の変革等による社会経済状況の変化はめざましく、それに伴う高等教育を取り巻く環境の激変は、教育界全体に変革を迫り、私立大学は国公立大学をも含めた厳しい競争的環境に晒されつつあります。

こうした状況の中、本学では新たな社会的要請を視野に入れた改革の検証と再構築の重要性を踏まえて、阿部三郎理事長から総合企画委員会委員長（角田邦重学長）に対して新たな諮問がなされました。総合企画委員会は諮問を受けて中期的な政策目標の策定に向けて検討を重ね、本年4月19日付で「新たな教学グランドデザイン」としてまとめられた答申書を提出しました。

本誌では別冊特集を組み、第1部で理事長、学長、総長に中央大学の21世紀ビジョンと「新たな教学グランドデザイン」について語ってもらい、第2部に答申の全文を掲載しました。

大学関係者の皆様には誌上鼎談と答申をお読みいただくことで、改革の具体的な内容についてご理解いただき、中央大学が目指す21世紀の大学像を共有していただければ幸いです。

中央大学入試・広報センター

目次

第1部 鼎談

中央大学の21世紀ビジョンをめぐって

2

第2部

教学グランドデザイン

イン

（中央大学総合企画委員会答申）

27

「『21世紀へ向けての本学の総合的な改革に関する理事会基本方針』に掲げられている諸政策事項の見直しを含め、更に今後付加すべき最重要政策事項及びその実施について」